



学校だより

たくま

白鷹町立荒砥小学校 令和 2年 4月 7日

めざすは「元気！本気！琢磨校」



校長 菅原 透

桜の開花宣言が相次ぎ、例年より早い春本番を迎えようとしています。しかし、新型コロナウイルスの影響で社会全体が不安定になっており、学校としては、子どもの安全を第一に考えた教育活動をすすめようと、日々検討を続けております。

さて、令和2年度がスタートいたしました。昨年度に引き続き、荒砥小学校の経営に携わることのできる幸せと重責を感じつつ、子ども達の笑顔が満開の毎日となるようがんばってまいります。今年度のキーワードは「元気！本気！琢磨校」。子ども達の元気な姿を高めます。子ども達の本気な姿を追求します。そして、校是「琢磨」が経営の芯となる“琢磨校”をめざします。子ども一人ひとりが一生懸命がんだり、「できる」ようになること、仲間と競い合い、励まし合い、支え合って「のびる」こと、それらを通して「かかわる」力を育み、みんなが一つになった勢いのある荒砥小学校を創る…。それには、保護者の皆様、地域の皆様のお力添えが不可欠です。子どもが安心して学校に通えるエネルギーの補充は大人の役割。子どもと大人、学校・家庭・地域が、それこそ「元気」「本気」になり、みんなで「琢磨校」を創ってまいります。

よろしく願いいたします。

新年度をスタートするにあたり、子ども達の健康確保に向けた取り組みをいくつかご紹介いたします。

- 1 毎日検温を行い、子ども達と職員の健康管理を細やかに行います。
- 2 各階に消毒液を配置し、手洗いの励行で除菌をすすめます。
- 3 換気の励行で「密閉」を緩和します。まだ肌寒い季節ですので、衣服のご配慮もお願いいたします。
- 4 マスク着用で「密接」を緩和します。忘れてきた子どもには可能な限り学校で対応します。(繰返し使用できる布マスクの作成・着用もお勧めです。)
- 5 できるだけ子どもと子どもの間をあけ「密集」を緩和します。大人数の場合は、なるべく広い空間に移動したりして対応します。

この他にも状況に応じて様々対応いたします。“危機管理のさしすせそ”（**さ**最悪を想定して、**し**慎重に、**す**素早く、**せ**誠意をもって、**そ**組織的に）を念頭に、子どもと職員の命を守るべくすすめます。ご不安をお持ちの皆様も大勢おいでのことと思います。これまでに経験したことのない状況です。みんなで何ができるのかを考え、みんなでこの局面を乗り切るべく、英知を結集してまいります。